

練馬区立光が丘四季の香小学校

学校だより



<学校評価>

令和4年1月31日

TEL 03-3977-2711

校長 繁田 幸江

第131号

教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子

HP <http://www.shikinokaori-e.nerima-ky.ed.jp/>

梅の蕾がほころぶ季節となりました。地域の皆様、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本年度の教育活動につきまして、保護者の皆様にアンケートの御協力をお願いしましたところ、多くの回答をいただきました。誠にありがとうございました。

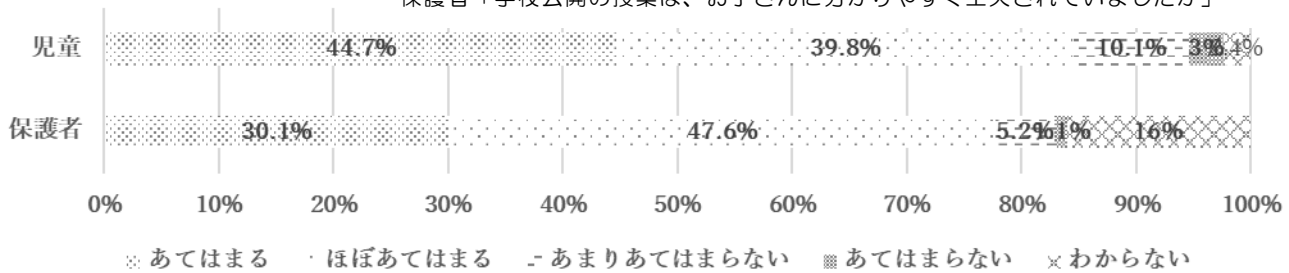
集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を次年度の教育計画に生かしてまいります。これからも、よろしくお願い申し上げます。

令和3年12月実施 <回答数> (保護者) 269 (児童) 405

1. 授業の工夫

児童「学校の授業は分かりやすく楽しい」

保護者「学校公開の授業は、お子さんに分かりやすく工夫されていませんか」

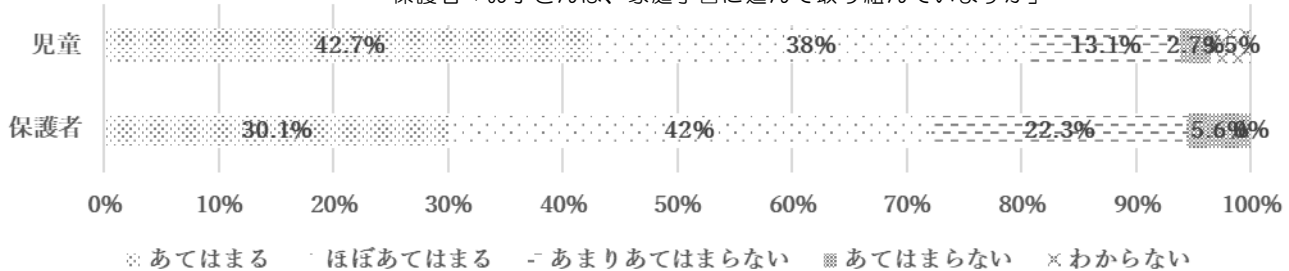


児童の 84.5%は、「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えています。また、保護者の 77.7%は、授業が分かりやすく工夫されていると答えています。今後も、児童が主体的に学び、分かる喜びのある授業を、学校体制で研究していきます。また、学校公開等でも積極的に児童主体の授業を行い、参観していただきます。

2. 学習への取組

児童「すすんで学習に取り組んでいる」

保護者「お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいますか」

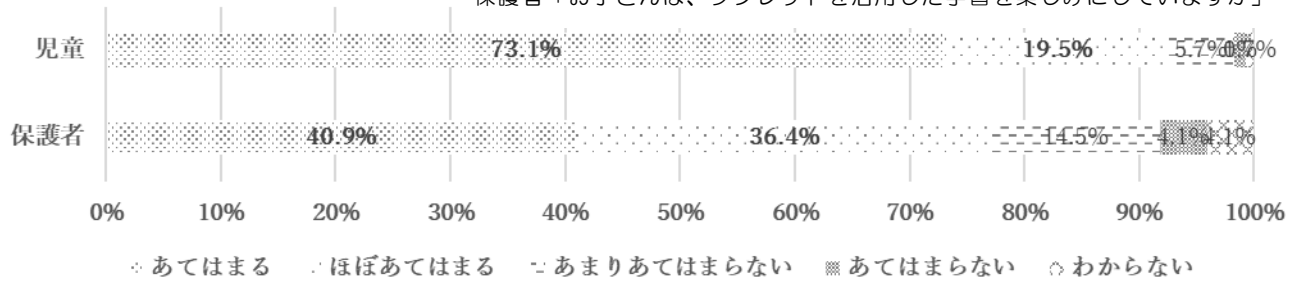


児童の 80.7%が、「進んで学習に取り組んでいる」と答えています。保護者の 27.9%は、「お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいますか」という問いに否定的です。今後は、授業だけでなく家庭学習の内容も工夫し、全ての児童に家庭学習の習慣をつけ、基礎学力の定着に努めていきます。

3. ICTを活用した学習

児童「タブレットを使って楽しく学習している」

保護者「お子さんは、タブレットを活用した学習を楽しみにしていますか」



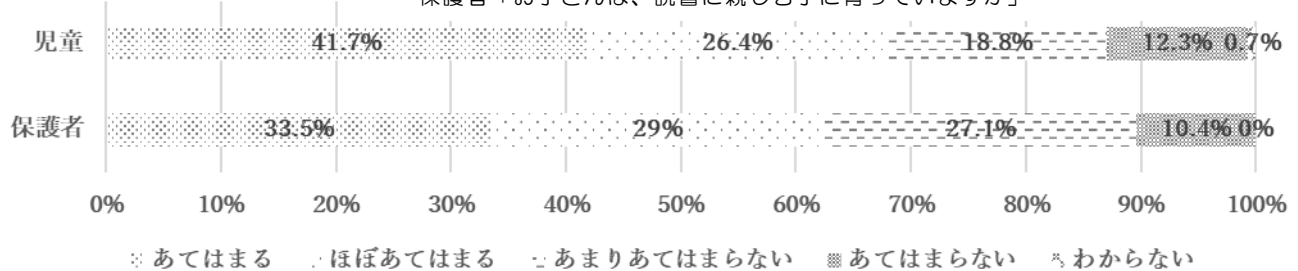
児童の92.6%が、タブレットを活用した授業を楽しんでいると感じています。今年度、校内研究でタブレットを活用した授業について研究を深めた成果が表れています。一方、保護者の18.6%は、「お子さんは、タブレットを活用した学習を楽しみにしていますか」という問いに、肯定的ではありません。

今後は、学校公開等でタブレットを活用した授業を見せたり、家庭学習の課題を工夫したりしていきます。

4. 読書教育

児童「読書が好きで、よく本を読んでいる」

保護者「お子さんは、読書に親しむ子に育っていますか」



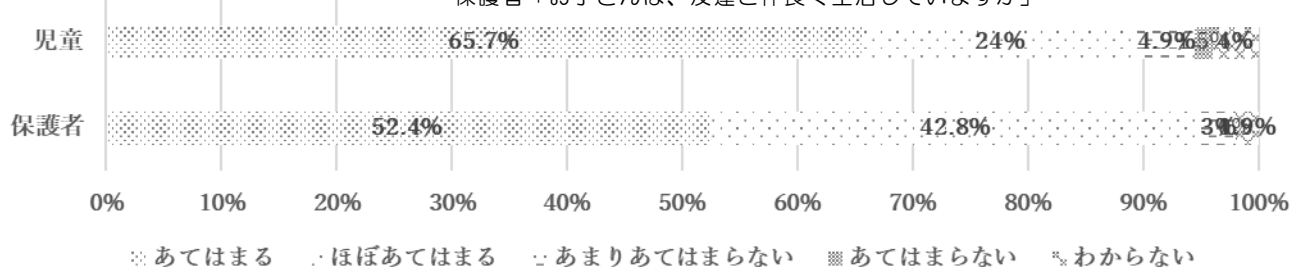
児童の31.1%が「読書が好きで、よく本を読んでいる」という問いに否定的です。また、保護者の37.5%も「お子さんは、読書に親しむ子に育っていますか」という問いに否定的で、どちらも少なくありません。

今後も、朝読書や親子読書など学校や家庭での読書時間を設けたり、図書ボランティアや光が丘図書館と連携した読書教育を推進したりします。そして、児童に読書の習慣をつけ、本好きの児童を育てていきます。

5. 友達とのかかわり

児童「友達と仲良くしたり思いやりをもって友達と接したりしている」

保護者「お子さんは、友達と仲良く生活していますか」



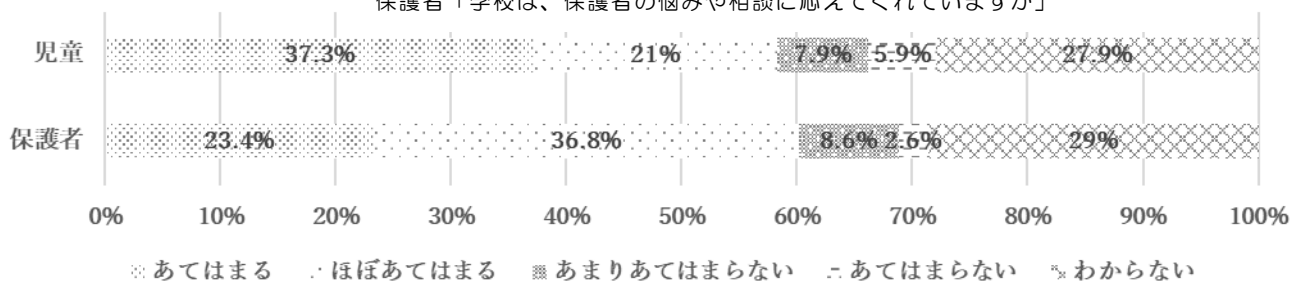
「友達と仲良くすること」は、児童89.7%、保護者95.2%と、共に肯定的な答えが多いです。学校生活では、いじめや仲間外れなどのない温かい友達関係が何よりも大切です。

今後も、学年間や異年齢集団で交流活動を行ったり、道徳の授業や学級会活動などを充実させたりして、児童に思いやりの心を育てていきます。そして、友達と温かい関係が築けるように教職員全員で見守ります。

6. 相談体制

児童「先生やスクールカウンセラーは、悩みや相談に応じてくれる。」

保護者「学校は、保護者の悩みや相談に応じてくれていますか」



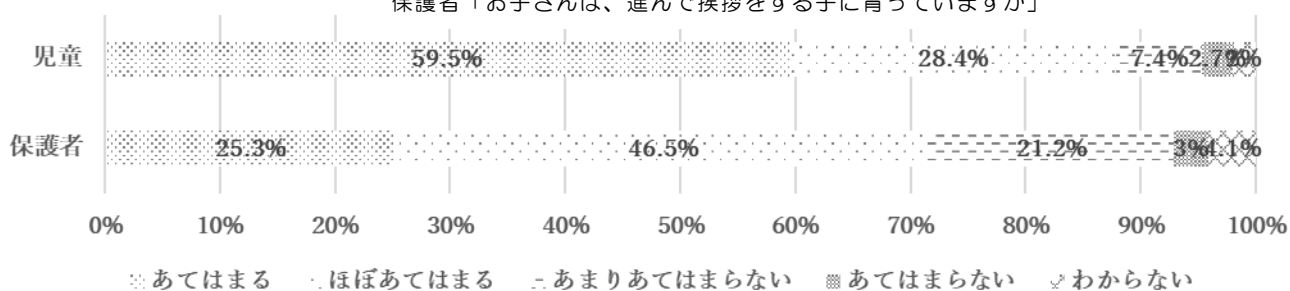
「先生やSCは、悩みや相談に応じてくれる」に肯定的な答えは、児童が58.3%、保護者60.2%と少ないです。また、「わからない」と答えたのが、児童27.9%、保護者29%と、他の問いに比べるとやや多いです。

今後も、学級担任以外の相談体制について児童や保護者に周知します。3年生は心のふれあい相談員と、5年生はスクールカウンセラーと全員面談を行いました。日頃から相談室で相談しやすい雰囲気を作ります。

7. あいさつ

児童「すすんであいさつをしている」

保護者「お子さんは、進んで挨拶をする子に育てていますか」



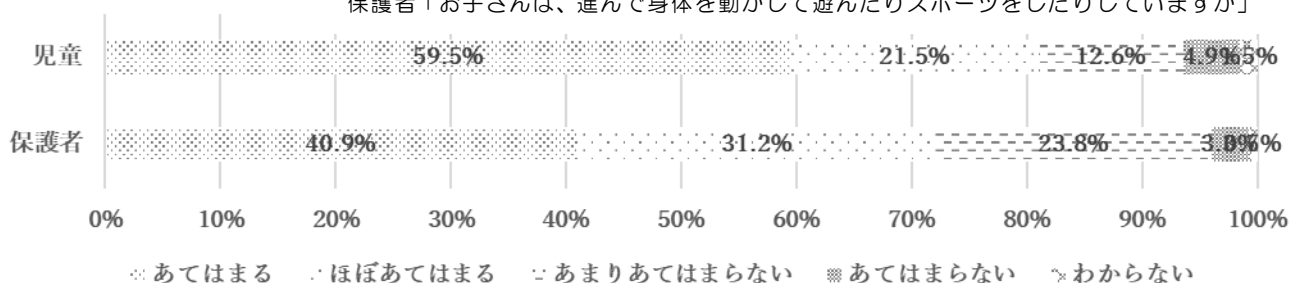
児童の87.9%は、「進んで挨拶をしている」と答えています。これは、挨拶指導の成果が児童の意識に表れていると言えます。一方、保護者の27.1%は、「すすんで挨拶する子に育てていますか」という問いに否定的です。

今後は、学校だけでなく地域や家庭でも進んで挨拶ができるように、家庭と連携して指導していきます。

8. 体力向上

児童「すすんで運動や外遊びをしている」

保護者「お子さんは、進んで身体を動かして遊んだりスポーツをしたりしていますか」



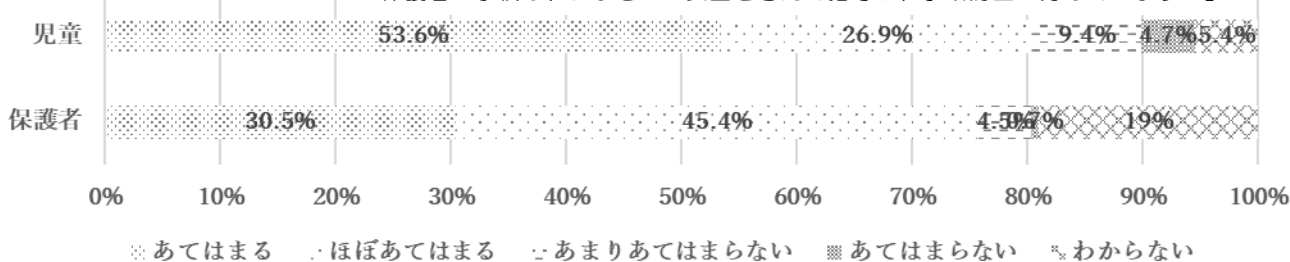
児童の81.0%は、「進んで運動や外遊びをしている」と答えていますが、17.5%は否定的です。保護者の27.1%も否定的な答えです。運動する児童とそうでない児童との二極化が考えられます。

今後は、体育の授業や縄跳び月間・持久走月間など全校の取組を工夫して、全ての児童に運動の楽しさを味わわせていきます。また、外遊びを奨励して運動量を増やし、体力の向上を図っていきます。

9. 安全指導

児童「交通安全指導や避難訓練に進んで参加し、安全に気をつけている」

保護者「学校は、お子さんの安全を考えて指導し、事故防止に努めていますか」



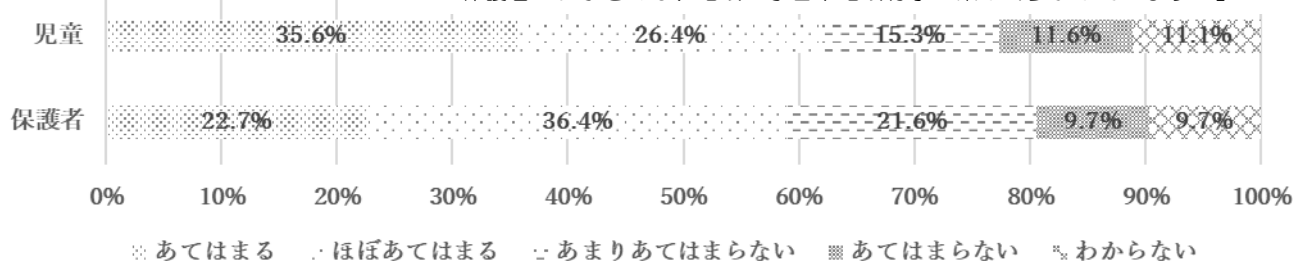
児童の 80.5%は「交通安全指導や避難訓練に進んで参加し、安全に気をつけている」と答えていますが、14.1%は、否定的です。また、保護者の 19.0%は、「学校は、お子さんの安全を考えて指導し、事故防止に努めていますか」という問いに「わからない」と答えています。

今後は、交通安全教室やセーフティ教室など地域や保護者と連携した安全指導を積極的に行い、児童が自分の安全を自分で守れるように育てていきます。

10. 地域とのかかわり

児童「地域の学習や地域行事に楽しく参加している」

保護者「お子さんは、地域の学習や地域行事に楽しく参加していますか」



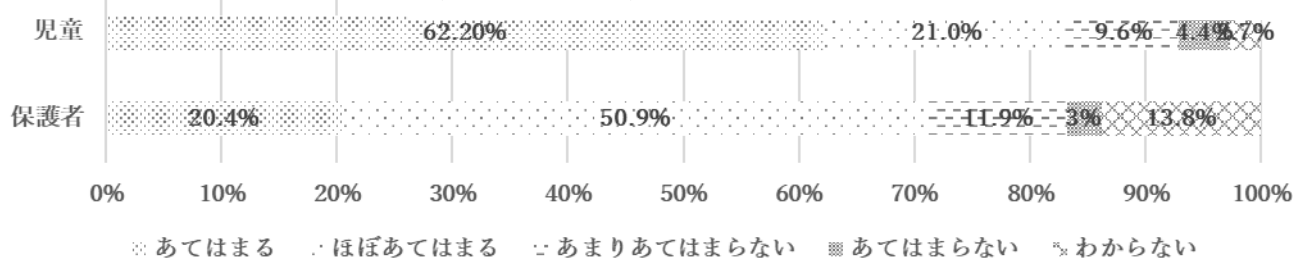
「地域の学習や地域行事に楽しく参加している」と答えている児童が 62.0%、保護者が 59.1%と、どちらも少ないです。コロナ禍で地域行事や地域学習があまりできなかったことが影響していると考えられます。

今後は、リモートで地域の方とつながるなど地域学習の方法を工夫し、地域を愛する児童を育てていきます。

11. 教育活動の発信

児童「学校のことなど、家族と話をしている」

保護者「学校は、保護者や地域に対して積極的に情報を発信していますか」



児童の 83.2%は、「学校のことなど、家族と話をしている」と答えています。また、保護者の 71.3%は、「学校は、保護者や地域に対して積極的に情報を発信している」と答えています。

今後も、学校行事の参観方法などを工夫して行っていきます。また、学校だよりやホームページ等で教育活動や児童の様子などを積極的に発信します。